



# ふれあい 放水路

1996  
(平成8年)  
第28号  
7月



## 雨のあと

六月二十五日、山陰地方は梅雨前線の影響で激しい雨が降り、大雨洪水警報が発令され、神戸川も馬木町の水位観測所では警戒水位を超えました。

雨上がりに様子を見に行くと、水かさが増した神戸川は流れの勢いが衰えています。ふだん何気なく見ている川は穏やかで背景の一部となっていますが、ひとたび大雨が降ると、一転してその存在感をアピールします。

土色になった水は川辺の草木を押し倒しながら下流へと向かっていきます。神戸堰では、水がまるで生き物のようにうねり、それを見ていると、呑み込まれそうな感じがして足がすくみます。

川は、豊かな自然を育み、人々の心をなごませてくれる「静」の空間である一方、時折「動」となって、氾濫の恐れをもたらし、自然の厳しさを感じさせる存在でもあります。

# 平成8年度の埋蔵文化財発掘調査予定地

平成3年4月から島根県教育委員会に委託して行っている斐伊川放水路事業に伴う埋蔵文化財調査も6年目に入りました。  
 今年度からは新たに出雲市教育委員会にも委託し、更に広範囲の調査を行います。  
 今回は、今年度の発掘調査予定地について紹介します。

凡例

- 平成8年度の調査予定箇所
- 発掘調査
- トレンチ調査
- 平成7年度までの調査箇所
- 平成9年度以降の調査予定箇所

## 半分城跡(権現山城跡)

今年度は主郭のあった丘陵の先端部分を調査します。現在、7ヶ所の郭(防御のための平地)と直径10cmほどの丸い石が多数見つかっています。この石は攻め上がってくる敵に対して投げつけたもので、「つぶていし」と呼ばれています。この調査では、各郭の形を徐々に掘り出し、その造りや郭と郭を結ぶ道の跡を調査します。



半分城跡の「つぶていし」

## 上塩冶横穴墓第17支群

現在は樹木の伐採を行っており、今後本格的な発掘調査を行います。

## トレンチ調査



トレンチ調査状況

トレンチ調査とは、本調査前に、試し溝(トレンチ)を縦横に掘り、遺跡の種類や範囲、深さについて大まかに確認する調査のことです。

## 三田谷I遺跡

現在、多量の土器とともに古墳時代中頃(5世紀)の竪穴住居跡3棟がみつかっています。一辺4mぐらいの正方形の形をしていますが、深さが10cmほどしかなく、かなり削られてしまったようです。また別の地点では、深さが約2mのところから弥生時代から奈良時代頃の土器やゲタなどの木製品が大量にみつかっています。今後、更に掘り下げていくので、何が出てくるか楽しみです。



調査・精査 柱穴や土坑が見つかった後、小さい道具で少しずつ掘り進みます。

## 古志本郷遺跡

古墳時代後期(6世紀)の溝と中世～江戸時代の溝が計15条確認されました。古墳時代の溝からは土師器、須恵器といった土器類や砥石などが出土しています。また、中世の溝からは13～15世紀にかけて中国で作られた青磁などが出土しています。今年度も引き続き調査を進めていきます。



ふれあい  
放水路  
通信

宍道湖グリーンパークと  
多自然型湖岸堤の整備

六月五日、日本有数の野鳥の飛来地である宍道湖の西岸に「宍道湖グリーンパーク」がオープンしました。この公園は、建設省が整備する多自然型湖岸堤と一体となって整備されており、宍道湖周辺の野生動物植物の保護繁殖と自然回復を目指した自然志向型の公園となっています。

この公園の中にある「記念の森」の木は、斐伊川放水路事業に伴い伐採されることになっていった開削部の木を移植したものです。塩冶の山の自然の中で育ってきた木々ですので、幹が曲つたものもあり、庭園の木とは違った自然そのものの風情が楽しめます。このほか、バードウォッチングができる野鳥観察舎や、宍道湖が一望できる展望広場、自然観察ができる自然の森や観察池などがあります。

また、宍道湖グリーンパークと一体となって整備された多自然型湖岸堤は、動植物の専門家や学識経験者などの方々のご意見を踏まえて、設計が行われました。堤防の勾配を三〇(約六度)程度の緩傾斜にするとともに、鳥類の休息場所となるような島を沖合に造成することなどにより、魅力ある親水空間の創出と自然の生態系の保全を目指しています。皆さんも、宍道湖の水鳥や植物とふれあいに、訪れてみて下さい。

位置図



河川愛護月間  
ポスター・作文展示のご案内

小・中学生を対象に、河川に関するポスター・作文を募集しましたところ、総数一九一点の応募がありました。これらの作品を展示いたしますので、ぜひお出かけください。

- ◆とき 七月二十二日～二十四日
- ◆ところ 出雲市内 パラオーフ プラザホール

「懐しいあの頃」

昔の神戸川の写真をお送りください。なお、写真を提供していただいた方には、お返しする際に引き伸ばしパネルを差し上げます。



建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所

〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当



7/21▶31 森と湖に親しむ旬間  
光かがやく森と湖に人の輪を広げよう